

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390500342
事業所名	高齢者グループホームかめじま

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 複合型施設として7階建の2階に当事業所は在ります。4階にあるサービス高齢者住宅に設置の洗濯エリアには、運動がてら利用者とは日常的に挨拶を交わす隣近所の付き合いを続けています。また隣の保育園の園児が目の前の公園で遊ぶことが日々あり、それを眺めて和んだり、時には保育士さんも交えて立ち話をしたりといった時間ももっています	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議には、地域包括支援センター職員を中心に、法人内の医師や看護師でもある協力医や訪問看護師が顔を揃え、他の事業所では実現できない貴重なメンバー構成となっています。ただし現状は内部で2ヶ月分の活動状況をまとめてメンバーに届ける方法を代替として、新型コロナウイルス対策を第一としています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 名古屋市からはマスクが届くほか、PCR検査キット、抗原セットも定期で届いています。PCR検査は該当センターに提出しており、仮に事業所内で陽性者がでた場合はセンターから市役所に連絡が入る仕組みになっていますが、事業所では事例はありません。また地域包括支援センターからは運営推進会議への意見と併に、空き情報について問い合わせがありますが、満床が続いており期待に応えること叶っていません。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「個別にじっくり聞くことで信頼関係を結んでいきたい」との思いを以て利用者の話に耳を傾けており、散歩や入浴の1対1になれる機会を活かしています。また昨年度の外部評価における家族アンケートからお便りへの希望点が確認され、速やかに改良しています。お便りの構成などを見直したことは家族から大変歓迎され、事業所としても「やってよかった」に結ばれています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	○	○								